

白山におけるハクサンコザクラの個体数の推定 (第2報)

芦原 孝 治 石川県立金沢女子高等学校
和久田 昌 則 石川県立桜丘高等学校
里見 信 生 金沢大学理学部生物学教室

THE PLANT COMMUNITIES AT THE DISTRIBUTIONAL BOUNDARIES IN JAPAN. II. THE *Primula cuneifolia* var. *hakusanensis* COMMUNITY AT MT. HAKUSAN

Koji ASHIHARA, *Kanazawa Girls' High School, Ishikawa*

Masanori WAKUDA, *Sakuragaoka High School, Ishikawa*

Nobuo SATOMI, *Department of Biology, Faculty of Science, Kanazawa University*

は し が き

筆者らは昨年、白山のミダガ原、室堂平のハクサンコザクラの量的分布と群落の組成について報告した。今回は第2報として、白山の南竜ヶ馬場の調査結果をまとめて発表する。尚、前回、立山やその他の地域において同様な調査をし、それと比較してみたいと予告しておいたが、今夏、立山、五色原の調査を実施することができたので、併せて報告する。

1. 調査地域と調査方法

白山、南竜ヶ馬場(海拔 2060m)のキャンプ地周辺(約5ha)〔図1〕と、立山、五色原(海拔 2440m)の五色小屋、五色原山荘、キャンプ地を中心に(約100ha)〔図2〕調査を行った。

調査方法及び被度、群度については、前回と同様であるので、前報をご参照願いたい。

2. 調査結果

(a) 方形区内ハクサンコザクラ株数

1. 白山、南竜ヶ馬場

方形区番号	1	2	3	4	5	6	7	8
株数	124	136	144	218	321	63	95	67
方形区番号	9	10	13	14	15	16	19	
株数	487	265	195	91	128	35	59	

方形区総数 15 総株数 2,428 平均 161.87

(前回調査の室堂平・ミダガ原の平均 162.42)

2. 立山・五色原

方形区番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
株数	22	77	63	67	118	40	137	20	17	46

方形区総数 10 総株数 607 平均 60.7

(b) 方形区内植物分布図

別表 I A, B, C, D, E

(c) 群落組成表

別表 II

3. 調査概要

以上の調査結果により、下記のことがらが推察される。

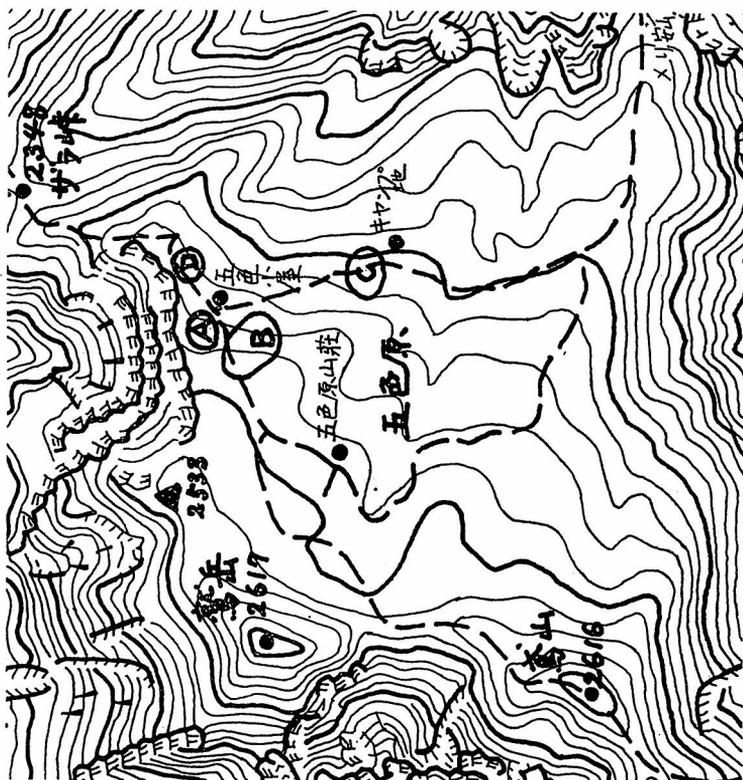
1. 1 m²内におけるハクサンコザクラの平均株数は南竜ガ馬場では161.87で昨年調査したミダガ原・室堂平とほとんど同一の数値を得た。これに対して五色原の平均株数は60.7となった。つまり白山においては立山の2.5倍となり、その産量の豊かさにおいては白山が勝っている。この事実は以前より経験的に言われていたことであるが、今回の調査によりそれが実証された。
2. 白山におけるハクサンコザクラの分布は室堂平、ミダガ原、南竜ガ馬場、その他、未調査地域を含めるとかなり広範囲に生育していると予想されるが、立山においては室堂平、雷島沢では筆者らの調査では絶無で、五色原においてようやくその群生している姿を見出した。また、五色原においても、五色小屋と五色原山荘の間あたりからキャンプ地を結ぶ線の五色小屋寄り約25haの範囲であった。つまり、白山の広範囲に分布しているのに対し、立山ではごく限られた地域にしか生育していない。
3. 1 m²内の出現種数は白山では8.58、立山、五色原では11.91と計算され、種類の数においては、五色原の方が勝れていると考えられる。

参 考 文 献

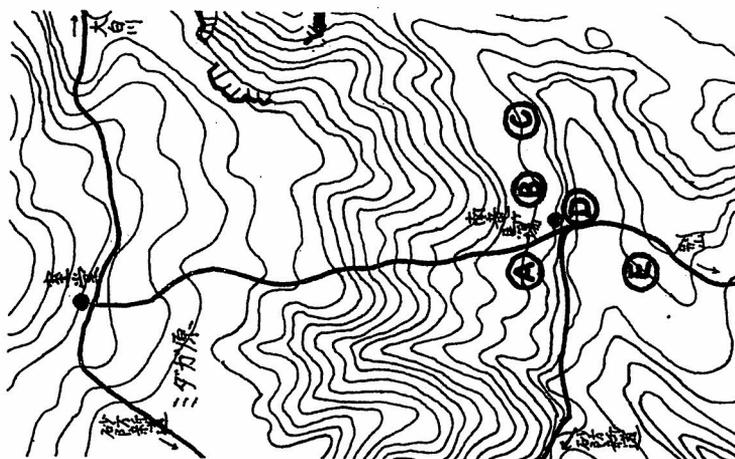
1. 鈴木和子：白山高山帯の植物社会，石川県白山自然保護センター研究報告 第1集 p.71~80 (1974)
2. 福岡誠行：日本海要素の分布様式について，北陸の植物 XV (1~3) p.63~80 (1966)
3. 和久田・芦原・里見：白山におけるハクサンコザクラの個体数の推定，石川県白山自然保護センター研究報告 第1集 p.55~60 (1974)
4. 鈴木時夫：白山の植生分布と垂直植生帯，白山の自然 p.114~156 (1971)

Summary

It is demonstrated that *Primula cuneifolia* var. *hakusanensis* is more abundant in Mt. Hakusan than in Mt. Tateyama. The habitat of the species in Mt. Tateyama is limited to the narrow area in Goshikigahara though it is widely spreaded in Mt. Hakusan. The number of species appeared in the studied quadrates is higher in Mt. Tateyama than in Mt. Hakusan.



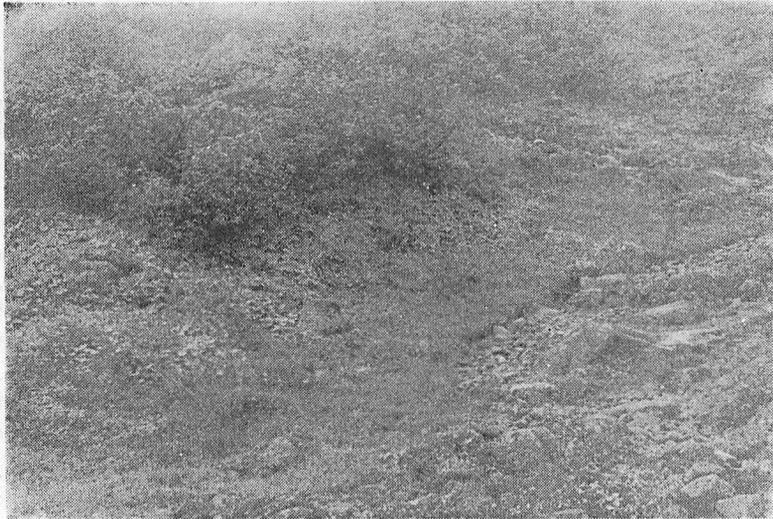
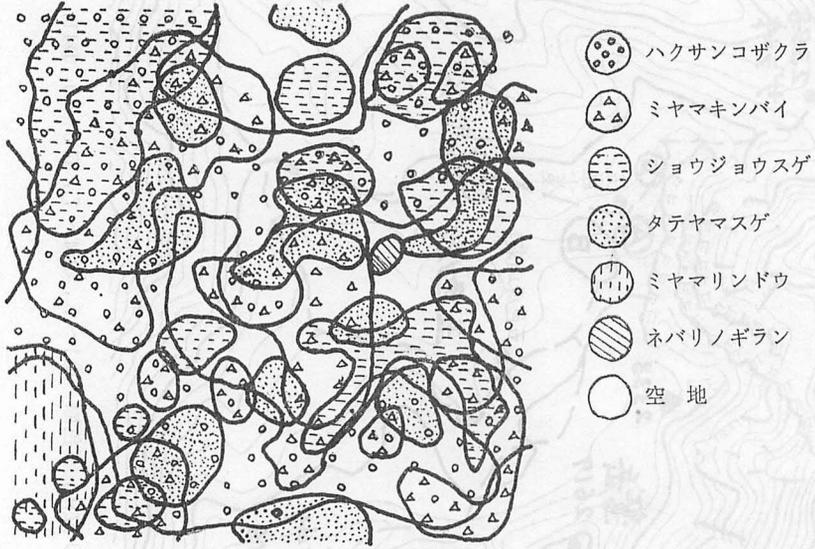
〔図2〕立山, 五色原 ㊸1~3, ㊸4~7, ㊸8~10, ㊸11, 12



〔図1〕白山, ミダガ原・南竜ガ馬場
㊸1~3 ㊸4, 5 ㊸6, 7 ㊸8~10 ㊸13~16, 19

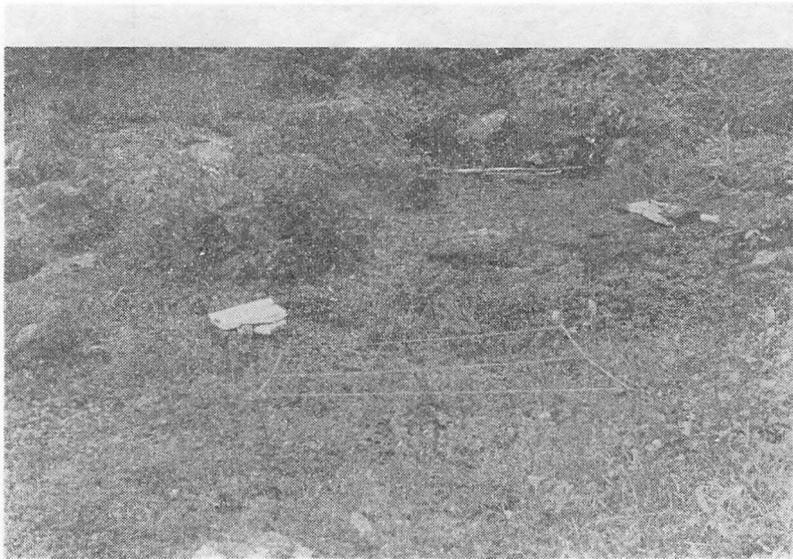
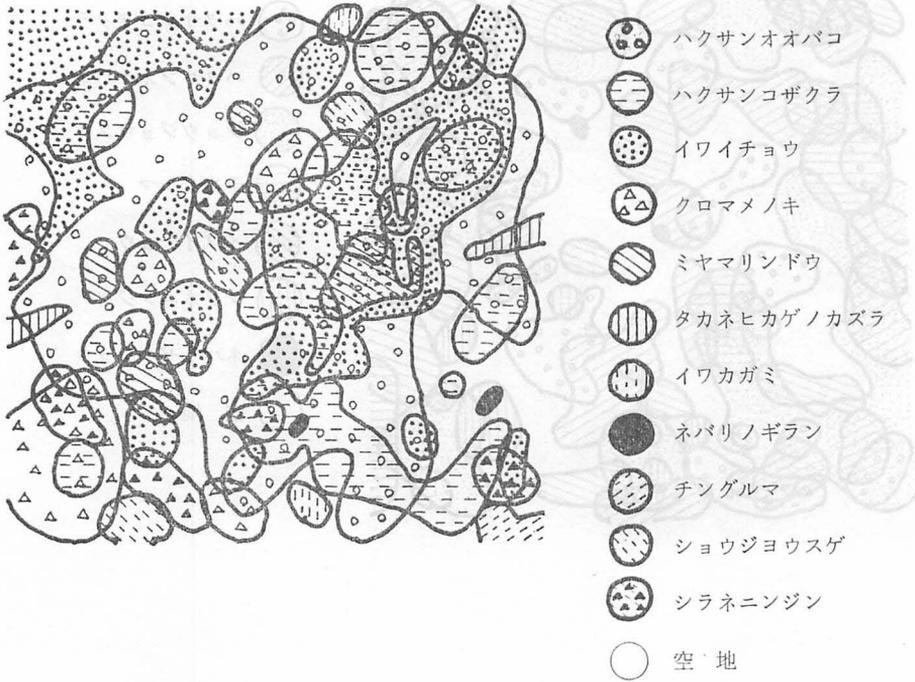
別表 I.A (白山, 南竜ガ馬場)

方形区番号 1 海拔 2,060m 傾斜方向 S30°E



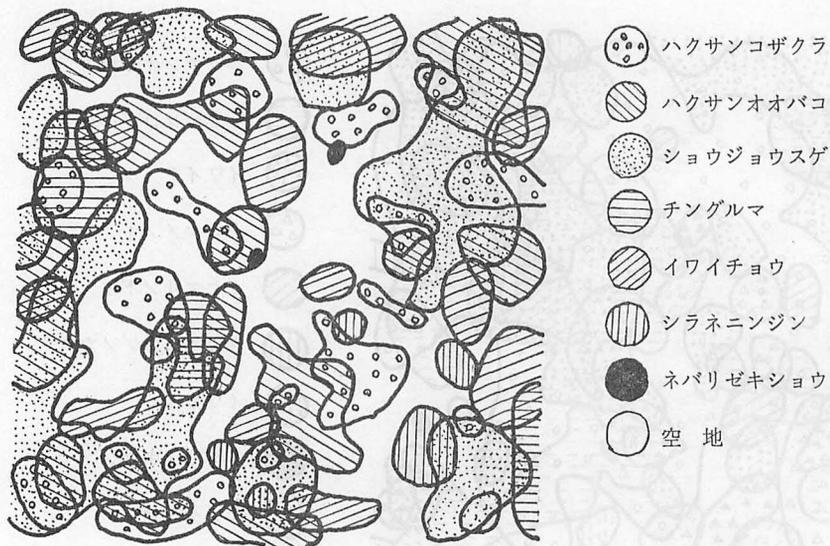
別表 I.B (白山, 南竜ガ馬場)

方形区番号 6 海拔 2,060m 傾斜方向 S40°W



別表 I.C (白山, 南電ガ馬場)

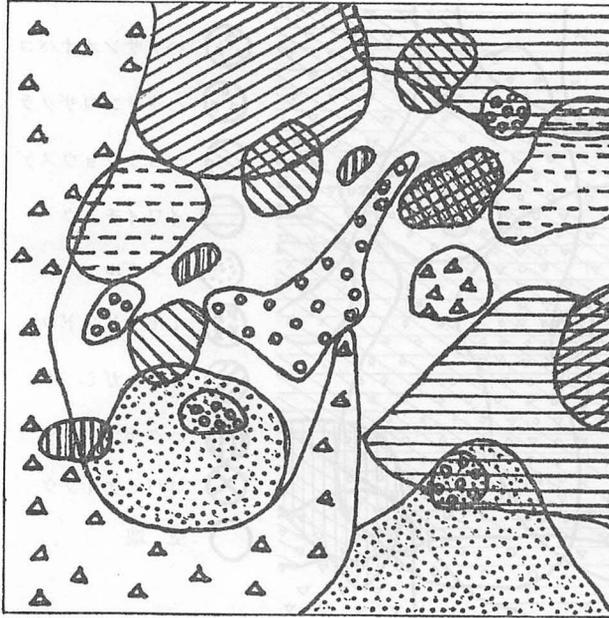
方形区番号14 海拔 2,060m 傾斜方向 S70°W



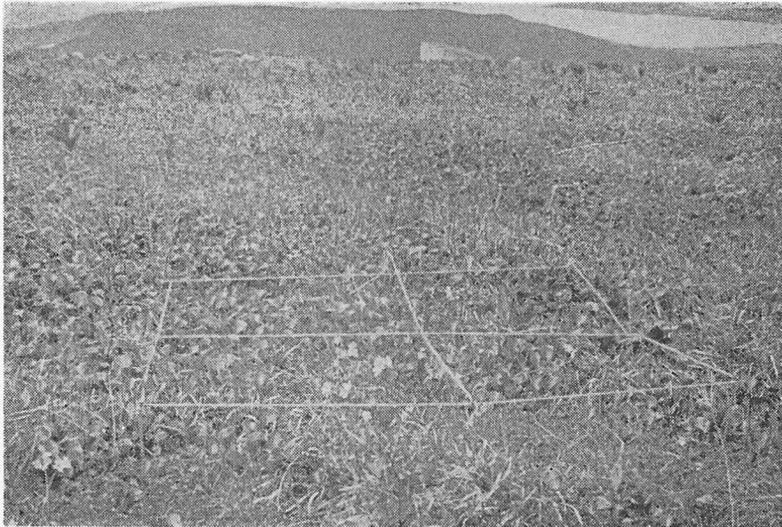
別表 I.D (立山, 五色原)

(黒岩正, 山立) 3.1 表紙

方形区番号1 海拔 2,440m 傾斜方向 N70°E



-  ハクサンオオバコ
-  ハクサンコザクラ
-  ショウジョウスゲ
-  イワイチョウ
-  チングルマ
-  アオノツガザクラ
-  イワカガミ
-  ミヤマダイヤモンドソウ
-  キンスゲ
-  空地



別表 I.E (立山, 五色原)

(図55 立山) 0.1 調査

方形区番号7 海拔 2,440m 傾斜方向 N40°W

